

教員養成の目標及び計画

学校教師学部は、社会が求める「優れた学習指導能力及び生活指導能力と対人関係能力を兼ね備え、生徒・父母そして社会から真に教師として信頼される人材を養成すること」を目的とし、その実現のために、これまで他の大学において行われていない特色ある教育システムを導入している。

1. 望ましい人間形成のための学生寮生活

秀明教育の母体であり、全寮制・中高一貫を特色とする秀明学園（昭和53（1978）年4月開校）の教育実績をもとに、全ての学生が学生寮で生活する「全寮制」を採用し、寝食を共にする共同生活を通して、「対人関係能力」「正義・寛容・理解と共感・思いやり・役割と責任」、「より良き生活習慣」を身につけ、教師としての資質能力を伸ばす。

2. 夜間学修

毎週月曜日から木曜日まで、夜間学修を実施する。夜間学修では、本学部の教員と附属校教員が指導に当たる。主な内容は以下の通りである。

- (1) 専修教科や一般教養・教職教養の学力を伸ばす問題演習や補習講座
- (2) 実力テスト
- (3) 教育実践演習報告検討会

3. 1年次からの「学校現場研修」

学部附属秀明八千代中学校・高等学校や「教育活動の相互協力に関する協定」を結んでいる近隣自治体6市の小学校・中学校と近隣の県立高等学校を実習校として、「学校現場の見学」「学習指導支援」「特別活動の実習」「授業実習」を実施する。これにより、学生は学習者対応能力、実践的指導能力を身につける。学校現場での研修・実習目標および内容は以下の通りである。

- 1年次：「児童・生徒の現状を知り、児童・生徒への対応の仕方を学ぶ」
授業見学とティーチングアシスト、個別補習指導、学習指導支援など
- 2年次：「授業における教師の役割や指導方法、授業技術を学ぶ」
授業見学と実習、ホームルーム補助、学校行事見学・補助など
- 3年次：「教材研究、指導案の作成など実践的授業能力を高める」
附属校における、生徒を対象とした実際の授業実施
- 4年次：「3年次までの講義・実習で得た知識と技術を総合する」
教育実習と公開研究授業の実施会

4. 「生きた英語力の育成と海外教育視察研修」

英語専修と初等教育コース（英語）の学生は5ヶ月、他の専修コースの学生は4週間、イギリスのCCC（チャーサー・カレッジ・カンタベリー）での生活と授業を通して生きた英語を学ぶと共に、イギリスの学校を訪問して学校制度や教育指導のあり方も学修する。